

1 学校関係者評価委員会の総評

- どの学級も児童が落ち着いて授業に取り組んでいる。教師の話をよく聞いて活動している。工夫された授業が展開されていて、子供たちの姿にも表れている。
- 各クラスとも整理整頓がよくできていた。
- コロナの関係で、グループ活動や話し合い活動は制限されたが、教師が児童の学習状況をよく見て、考えを求めながら参加型の授業が展開されている。
- 英語の授業では、児童が楽しそうに学習に取り組み、学位年に応じて聞く・話す・読む・書く力が付いている。
- コロナでできない時期もあったが、朝のランニングや縄跳び、鉄棒練習などは児童がいきいきと目標をもって取り組んでおり、体力向上につながっている。

2 分野別評価

分野	学校の取組に対する評価と今後の改善点
学 力 向 上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 8時10分になると全校児童が朝読書を開始し、落ち着いて一日のスタートができています。</li> <li>• グループ活動ができない分、担任の工夫で授業の中で児童同士の学び合いができました。</li> <li>• 国語科の研究に取り組み、段落相互の関係に注意して文章を書く力が向上した。合わせて学ぶ意欲も向上が見られた。</li> <li>• タブレットを使った授業も行われ、来年度の一人一台端末に向けて児童の興味関心を高めることができた。 (今後の改善点)</li> <li>• 学年が上がるほど鉛筆の持ち方が崩れる傾向がある。特に女子に目立つので改善が必要である。</li> <li>• 休校中の課題の出し方は工夫が必要である。オンライン学習は保護者が一緒にないと難しかった。</li> </ul>
特 別 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナ禍の学校行事は制限がたくさんあったが、密を避け工夫して実施することができた。来年度も対策をとりながら、行事ができるとよい。</li> <li>• 米づくりは、田植えができなかったが、稲刈りは全校児童で体験でき収穫の喜びが味わえた。脱穀は6年児童が代表で行った。上級生としての責任を果たしていた。</li> <li>• 前半はコロナの関係で朝ランニングができなかったが、後半は朝ランニングやなわとび練習に取り組む児童が増え、効果が上がった。</li> <li>• 児童の心に寄り添い先生方が丁寧に教育相談をしている。そのことがいじめ防止につながり、児童や保護者との信頼関係構築につながっている。 (今後の改善点)</li> <li>• コロナ禍での行事の在り方を検討し、安全で教育効果の期待できる内容にしていく。先生方の負担軽減も対策が必要である。</li> </ul>
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 朝の登校の見守りが充実している。地域の方々の協力により児童が安全に登下校できている。学校教育に対して保護者や地域の方々の理解がある。</li> <li>• コロナで限られた活動になってしまったが、地域と学校がうまく連携できた。</li> <li>• 古い校舎であるが、外壁塗装工事により学校の環境がよくなった。 (今後の改善点)</li> <li>• コロナでできなかったが調理や水泳など地域のボランティアの方を募集して、学校の教育活動に生かしたい。</li> <li>• 登校時に見守り隊の方にお任せするのではなく、各地域で立哨当番を増やし、見守りを強化したい。また、児童が自分で安全を確認する習慣を付けたい。</li> </ul>